

## 成果の説明書

(氏名) 西沢淳男	(学部) 地域政策学部
<b>1 重要事項</b> <p><b>研究として</b>、前年度から引き続き東京大学史料編纂所に所蔵されている「代官竹垣直道日記」の翻刻作業である。日記は古代・中世史研究においてはよく利用されるものであるが、近世史研究においても近年利用が活発になってきている。日記には公務は勿論、その時代の生活・文化・風俗や各種通達の写しなど多岐にわたっており、史料翻刻は学会の共有財産として広く活用されていくべきものとして、翻刻の掲載と公開をはじめた。日記は文字が難解な上に紙幅の都合で、学内学会機関誌(『地域政策研究』)に半年分(1冊)の翻刻を発表した。</p> <p>また、「竹垣日記」同時代日記の対比検討史料として東京大学法学部法制史資料室蔵「飛驒郡代豊田友直日記」について研究会を組織して刊行のための翻刻作業を開始し、2018年末第一冊目(天保11年)と第二冊目(天保12年)を出版社へ入稿し、2019年秋刊行予定で現在初校校正中である。</p> <p>全国の幕府領代官の経歴や赴任地等を網羅した凡そ1300人をデータベース化し、アクセスランタイム版CD-ROMで提供するべく、2018年末出版社へデータを引き渡し済みで、夏までに刊行される予定である。</p> <p><b>地域貢献として</b>、①日光御成祭の関連事業として行われた「伊奈サミット」において、川口市長・伊奈町長・つくばみらい市長とともにパネルディスカッションにおいて、関東代官伊奈氏についての歴史的位置を解説するとともに、伊奈氏を中心とした歴史を生かした町づくりの提言を行った。</p> <p>②さいたま市立博物館(旧坂東家住宅見沼くらしっく館)の依頼により、前年度の研究成果を踏まえ、その成果を「村にお代官様がやってきた」と題して同所において講演をした。</p> <p>③赤山陣屋の歴史的価値の確定と埼玉県指定旧跡から史跡への文化財指定変更についての調査研究、陣屋内案内板変更について、教育委員会へ助言・指導をした。</p> <p><b>社会貢献として</b>、埼玉県川口市の文化財保護審議会委員及び川口市遺跡調査会理事として、市の文化財保護行政について助言・指導をし、埋蔵文化財調査について指導・監督した。</p>	
<b>2 その他の事項</b> <p>高崎経済大学地域政策学会長として会務を総括し、新規事業として学生懸賞論文制度を設け学習意欲向上に努め、卒論刊行補助金の増額により学生への還元を図った。</p>	
<b>3 次年度以降の計画・抱負</b> <p>同時代期の幕臣(代官)日記の比較検討のため、翻刻成果公開中である「代官竹垣直道日記」と併行して、2019年度から刊行の始まる「飛驒郡代豊田友直日記」の翻刻・校正を進めていきたい。同時代、且親交があり同職の幕臣日記は希有であり、別に豊田友直の実父「久須美祐明日記」も刊行され、日記を総合的に比較・分析し、地方文書からではみえてこない幕臣の心性、施策を明らかにしていきたい。</p>	